応募フォームに入る前に必ず読んでください

家畜衛生・公衆衛生獣医師
インターンシップ

VP camp

参加学生のための手引き

NPO法人獣医系大学間

獣医学教育支援機構

目次

1	VPcampとは？	P2
2	参加方法	P2
1.	申込みから修了までの流れ	P2
2.	手続きの日程および方法	P3
3.	申込概要	P4
4.	実習開始まで	P4
5.	実習への参加	P5
6.	実習後の手続き	P5
3	提出書類の様式	P6
4	Q&A	P6
5	注意事項（重要）	P7
6	問合せ先	P7
【参考】	誓約書(様式9)	P8
【参考】	実習日誌(様式11)	P9
【参考】	個別評価書(様式12)	P10
	実習チェックリスト	P11.12

1 VPcamp実習とは？

VPcampとはVeterinary Public health campの略で、獣医学生を対象とする実習インターンシッププログラムです。家畜衛生・公衆衛生の行政分野で活躍する獣医師を育成するために、獣医学生を対象として、国家機関、国際機関などに実習受入をお願いしています。なお、これまで自治体にお願いして実施してきた家畜衛生・公衆衛生実習は、VPcampの枠組みから外し、家畜衛生・公衆衛生実習(スタンダード編）として運用します。

2 参加方法

1)申込みから修了までの流れ

ステップ1	VPcampサイトで実習地を確認
ステップ2	応募フォームより申し込み
ステップ3	大学は学生の応募状況を確認して、VPcamp事務局へ最終申込
ステップ4	VPcamp事務局から受入機関へ応募者情報を提供
ステップ5	受入機関による学生受入判定
ステップ6	VPcamp事務局から学生へ受入連絡
ステップ7	学生から機関へ事前打ち合わせの連絡
ステップ8	指定された書類の作成と提出及び動画視聴
ステップ9	実習開始
ステップ10	実習終了後、日誌回収→実習状況報告書作成と送付

2.手続きの日程および方法

日程	手続き	備考
12月上旬	募集開始	
	VPcampサイトに掲載の実習地一覧より実習希望先を確認後、応募フォームから申し込み	
12月中旬	一次募集締め切り	入力内容を基に選考を行うので、正しい情報を入力すること。
12月中旬以降	大学へ応募情報を共有	教員の推薦と保険加入証明を得た学生のみがその後の選考へ進む。
12月下旬	大学より最終応募者の提出	
1月上旬	各機関へ応募者情報を共有	機関による受入判定
1月中旬	実習受入通知の送付	事務局から大学へ、大学から申込者へ実習受入通知書を送付。 通知書に記載された注意事項を確認すること。
受入決定後 速やかに	受入機関と事前打ち合わせ ＊受入決定通知書にある機関へ実習生本人が連絡をして打ち合わせを行う	1.実習決定後提出書類の提出先および提出締切日の確認 2.実習に必要なもの（服装・持ち物）の確認 3.前泊の有無、実習初日の集合場所および時間の確認 4.その他、健康チェック等に関する確認
	参加決定者の追加書類提出	指定された機関担当者へ書類の提出 ・履歴書 (必要に応じて) ・誓約書（必要に応じて） ・保険証明書（傷害保険及び賠償責任保険に加入していることがわかる書類） 提出方法・期限は各自で確認

3.申込概要

実習対象者	・獣医学部（科）に在学中の全学年生 ・家畜衛生、公衆衛生に興味・関心がある者 ・指導教員の推薦する者 ・各機関が個別に定める条件を満たす者
実習内容	各機関の実習プログラムを参照のこと
実施時期及び定員	・実施時期は機関により異なる ・定員は機関により異なる
実習開始日と終了日	・実習開始日は原則月曜日とする ただし希望日数が5日間に満たない場合は、開始日は月曜日に限らず、終了日を開始日と同じ週の金曜日までに設定する
実習日数	各機関の実習プログラムを参照のこと
保険への加入	実習中の不慮の事故に備え、期間中の傷害保険および賠償責任保険に加入
実習に必要な経費	実習に必要な旅費、宿泊費、その他の経費はすべて実習生の負担とする

※詳細は機関により異なるので、各機関の実習プログラムを参照のこと

4.実習開始まで

提出書類の準備	・履歴書 （必要に応じて） ・誓約書（必要に応じて） ・保険証明書（傷害保険及び賠償責任保険に加入していることがわかる書類） 提出方法・期限は各自で確認
事前講義プログラムの視聴	・受入決定後、機関から動画視聴を課された場合は、VPcampサイトより事前講義動画を視聴して予習をしておく ＊視聴のためのパスワードは、実習受入決定後に通知

5.実習への参加

実習記録	実習中は実習日誌（様式11）を持参し、毎日記入する ＊実習日誌は実習終了後に機関担当者へ提出
実習中に遵守すべき事項	①　実習生の都合による実習先等の変更は原則として認めない。 ②　実習生は受入決定通知書受領後速やかに実習先へ連絡し、誓約書、保険証明書の提出、集合時間や持ち物等の指示を仰ぐこと。 ③　予め実習先へ通知した到着時間を遵守すること。やむを得ず変更する場合は、直ちに実習先へ連絡し、事前に了承を得ること。 ④　清潔な白衣および長靴、聴診器、腕時計等（牛の心拍数計測のため秒数が測れるもの）その他日常衣服、印鑑、日用品程度は携行すること。なお、白衣、長靴等は実習先で用意する場合もあるため②の連絡の際に確認すること。 ⑤　実習生が故意または過失により施設、器具類等を破損した場合は、実習生が弁済の責を負うものとする。 ⑥　実習生は指導獣医師等の指示に従い規律ある行動をとるものとし、規律が乱れる時は実習を中止させることもある。 ⑦　実習で知りえた実習実施場所等の事務上の機密に属する事項及び個人情報については、実習期間中及び実習終了後においても一切これを漏えいしないこと。 ⑧　研修期間中における施設、人物、動物、機器類等の写真や動画撮影は、機関担当者や動物飼養者等の許可を得て行うこと。また、撮影の承諾を得た写真や動画であっても、ホームページ、ブログ、SNS、共有サイト等に掲載することは、限られたネット環境であっても禁止する。

6.実習後の手続き

実習終了の報告	実習終了後1週間以内に、実習日誌を作成し受入機関へ提出する
実習終了後提出する書類	様式11　実習日誌
提出先	指定された受入機関担当者
提出方法	実習最終日に紙で提出するか、後日PDF化したものをメールで提出
	実習日誌は受入機関が回収し、それを基に「個別評価書」(様式12)を作成
単位認定	個別評価書を基に、大学が単位を認定

3 提出書類の様式

実習先決定後

- **誓約書**　受入機関から指定された様式を使用すること
  ＊特に指定されなかった場合は、VPcampサイトから**様式9**をダウンロード
- **履歴書**　受入機関から指定された様式を使用すること
  ＊特に指定されなかった場合は、自身で用意
- **傷害保険及び賠償責任保険加入証明書**　大学の教務課、学務課へ発行を依頼
  ＊大学が管理していない家族保険等は不可

実習終了後

- **実習日誌（様式11）**　VPcampサイトからダウンロード

4 Q&A

Q.誰に申し込んで良いのかわかりません。誰に詳細を聞けば良いのかわかりません。

申込は実習事務局ホームページから直接行ってください。
わからないことがある場合は、次ページの「6.問い合わせ先」へご連絡ください。

Q.申し込んだら必ず参加できますか？

受入人数が限定されていますので、申込者が受入可能人数を上回る場合には申込フォームをもとに選考を行います。全ての申込者が必ず参加できるとは限りません。

Q.複数の機関で実習に参加することはできますか？

1回に応募できるのは1プログラムのみです。1つの募集期間が終了し、受入判定で「受け入れ不可」となった場合は、二次募集で別の実習に応募することができます。
＊1次募集の受付期間中に複数のプログラムへ応募をした場合、全て無効となります。

Q. 単位取得に係る大学指定書類への記入を、受入先へ依頼してもいいですか?

書類作成を個別に依頼することは控えてください。単位認定には、VPcamp事務局が発行する個別評価書を使ってください。各大学にもそのように依頼してあります。

5 注意事項（重要）

過去に獣医学生を受入れた機関から下記のような指摘があった。実習への参加に際しては、受入先機関に迷惑をかけないように十分注意すること。

1）実習態度が不真面目な実習生がいた。実習中に居眠りをしたり、スマートフォンや携帯電話をいじっていた。我々の職場は、遊び場や友人宅でもないので、規律ある行動をとっていただきたい。

2）農家の家畜は大切な財産である。また、牧場は個人所有の施設であることを自覚すべきである。大声を出したり畜舎の中を走ると、家畜が驚いたり興奮するので厳禁である。また牧場内で写真を撮るときには許可を取ること。

3）服装には十分に留意すべきである。実習で訪問する農家は、あくまでも個人で家畜を飼養する畜産農家であるので、大学の実習とは異なることを自覚してもらいたい。白、または黒などの長靴で、長ズボン、靴下着用のこと。また、タンクトップや派手な配色の服装もさける。化粧は可であるが、汗をかくことを加味すること。

4）使用した部屋、道具は帰る前にきちんと掃除をすること。

5）実習の終了後に手洗いをする様子を見ていると、5、6年生の学生であっても、きちんとした手洗いが出来ている学生はかなり少なかった。外科の実習等で手洗いなどについても行っているはずなので、現場で病畜を触ったときにはしっかりと実践すること。

6）睡眠不足などで、実習中に居眠りをしていたり、熱中症で倒れた学生もいた。健康管理は自己責任で行い、十分な睡眠を取り水分補給を行うこと。

7）授業料を納めて受けている大学の実習とは異なることを自覚すること。受け入れ側の協力があって成り立っている実習であることを、実習生自身が強く自覚すること。

8）公的機関で実習するということはどういうことか。常に、国民・県民・市民の目があることを意識すること。

6 問合せ先

NPO法人獣医系大学間獣医学教育支援機構内
VPcamp実習事務局
〒113-0034　東京都文京区湯島3丁目20-9　3F
メールアドレス：vpoffice@veteso.or.jp
TEL：03-5817-8824（お問い合わせはなるべくメールでお願いします）

様式9

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様

誓　約　書

「VPcamp実習実施要綱」に基づいて実習を行うに当たり、特に下記事項について保証人と連帯責任のもとに誓約いたします。

記

1. 貴機関職員の指示に従って、規律ある行動をとります。ただし、これに違背した時は、実習を中止されても異議はありません。
2. 実習期間中に被った一切の事故（自動車事故を含む）に係る損害についてはすべて私共の負担とし、貴機関には一切迷惑をかけません。
3. 貴機関の施設、器具等を破損した場合は、私共が弁済いたします。
4. 貴機関の事務上機密に属する事項及び個人情報については、実習期間中及び実習終了後においても一切これを漏えいしません。

----------**以下自筆**----------

年　月　日

実習生
　大学名
　住所
　氏名

保証人
　住所
　氏名

緊急連絡先
　電話
　氏名

様式 11

2026年度　VPcamp実習　実習日誌

氏名		所属大学		学年	
機関名称		実習期間	月　日 から　月　日	実習日数	日間

※実習終了後1週間以内に、実習先へ提出してください。

各日の実習内容について記載してください。

第　日目	年　月　日(　)担当獣医師:
実習内容	
特記事項 (学んだこと・反省点・明日の予定など)	

※ 用紙が不足する場合には次ページをコピーして使用すること。

様式12

個別評価書

(家畜衛生・公衆衛生分野におけるアドバンスト教育プログラム)

参加者		所属	
実習先		実習期間	
評価者			

実習施設 01		実習施設 04	
実習施設 02		実習施設 05	
実習施設 03		実習施設 06	
その他			

事前講義 01		事前講義 03	
事前講義 02			
その他			

実習出席状況	出席　日（遅刻　日/欠席　日/早退　日）		
受入機関のレポート課題		レポート評価	
VPcamp の実習日誌		日誌の評価	

実習には 規律正しい態度でのぞんだ		業務内容に 適応した行動がとれた	
業務内容を 的確に理解していた		目的意識をもって 意欲的に取り組んだ	

特記事項	
評価者コメント	

VPcamp 事務局



実習チェックリスト



1. 実習参加決定後～実習前の準備

□ **保険加入証明書の写しを用意した。**

・保険の種類について：2 種類の保険加入(傷害保険と賠償責任保険)が必須です。入学時にこれらの保険の加入を義務付けているので、各大学の窓口に問い合わせましょう。

□ **事前講義を視聴した。**

・受入機関によって視聴すべき講義が指定されています。事前講義は実習プログラムの効果を高めるために重要なものです。実習開始日までに VPcamp サイトから視聴しましょう。

□ **実習日誌フォーマットをホームページからダウンロードし、使用する準備を整えた。**

□ **参加する実習受入機関からの連絡をチェックした。**

・受入機関によっては誓約書や履歴書等の提出を求められる場合があるため、見落としが無いようにしましょう。

□ **礼状の書き方を学習し、礼状に必要なものを用意した。**

□ **宿泊施設・交通手段の確保をした。**

・実習への参加は無料ですが、現地までの交通費および宿泊費は自己負担となります。早めに各自で手配を行いましょう。

□ **実習先の集合時間、集合場所を確認した。**

2. 実習参加にあたっての注意事項

□ **受入機関の担当者連絡先などを事前に控えておいた。**

□ **実習の初日には、指定された日時・場所に集合する。**

□ **初日のオリエンテーションでは、遵守事項などについての説明をよく聞いておく。**

□ **実習は受入機関職員の皆様のご協力の下、業務内で行われていることを念頭に置き注意事項に従って臨む。**

□ **状況に応じて実習先により実習内容が変更される場合があることを理解する。**

□ **受入機関の概要を調べる。**

・概要例：組織図、職員数、関係する中央官庁、主な業務内容、最近のトピックス　等

□ **服装・身だしなみに気をつける。**

・受入機関から服装の指示がある場合はそちらに従いましょう。それ以外は、学生らしく清潔な服装を心がけ、ラフな服装(短パンや サンダル)は控えましょう。女性の場合、スカートでは行いづらい業務等も想定されるため、控えることを勧めます。

□ **守秘義務を心得る。**

・実習中に知りえた未公開情報を外部に漏洩することは、実習中・実習後に関係なく厳禁です。情報公開については、受入機関担当者 の指示に従いましょう。

3. 実習中

□ **指導員の指示・命令に従う。**

□ **受入機関の関係者および一緒に参加する学生の名前等はできるだけ早めに覚える。**

□ **実習へはきちんとした受講態度で臨む。**

・居眠りや不真面目な態度は職員の皆さまに大変失礼ですので慎みましょう。

□ **実習中の学生同士の私語は慎み、実習の現場を離れる際は指導員に断りを入れる。**

□ **携帯電話は電源を切るかマナーモードにし、休憩時間以外は使用しないようにする。**

□ **指定場所・時間以外の喫煙は慎む。(受入機関によっては施設内禁煙の場合もある)**

□ **実習中に使用する機器は大切に扱い、使用後は元の場所に必ず返却する。**

□ **実習中に指導員などに報告・連絡・相談するときは、5W1H に注意して的確に行う。**

□ **許可無く禁止されている場所に入ったり、施設、設備などを写真撮影したりしない。**

□ **1 日の実習が終わったら後片付けをしっかりと行い、翌日の予定・計画を確認する。**

□ **事故が発生した場合は直ちに指導員などに連絡をして指示を受けると共に、所属大学及び VPcamp 事務局(03-5817-8824)にも連絡を入れる。**

・宿泊施設への帰宅途中等で事故にあった場合も同様。

□ **実習期間中は、毎日日誌をつける。**

4. 実習後

□ **実習中に作成した日誌やレポート(課題として課されている場合)を受入機関へ提出した。(期限は実習終了後 1 週間以内)**

□ **実習でお世話になった受入機関職員に礼状を書いて投函した。**

□ **実習終了 3 か月後を目安に VPcamp 事務局から大学宛に「実習状況報告書」が送付されるので、大学事務から受取後必要があれば単位申請等に利用する。**

・日誌やレポートの提出が'確認できない場合は実習修了とみなされない為、「実習状況報告書」は発行されません。

☝すべての項目□にチェック☑は入っているかな？最後にもう一度確認しよう！